

2018 年度

アメリカ留学報告書

実習先：セントラル・ミズーリ大学

実習期間：8月22日（水）～12月6日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21017009
礎つぐみ

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	5
5	当初目的・目標への達成度	7
6	反省・課題	8
	謝辞	8

付録

	研修日誌	8
--	------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：セントラル・ミズーリ大学

研修期間：平成 30 年 8 月 22 日（水）～平成 30 年 12 月 6 日（木）

※帰国は 12 月 7 日（金）

2 研修先概要

(1)大学について

セントラル・ミズーリ大学はミズーリ州ウォレンズバーグ市に位置している。1871 年に設立され、現在学生数は 13,000 名である。そのうち世界から 57 か国から 2000 名以上の留学生在籍している。キャンパスにはコンサートホールやスポーツジム、映画館などの施設がある。映画館やスポーツジムは無料で利用することができる。航空学が有名であり、パイロットを目指す学生が集まっている。

(2)大学で行われている教育について

セントラル・ミズーリ大学には、IEP (Intensive English Program) と呼ばれるプログラムがある。主に英語を母国語としない学生に英語の教育を行う。レベルが 9 段階に分かれており少人数のクラスで授業が行われている。本学の派遣留学生はこのプログラムに参加し、Reading, Writing, Grammarなどを学ぶ。特別授業としてアメリカの歴史や文化、発音、TOEIC 対策の授業も受講する。留学中の成績は後に本学の単位として換算される。

3 研修目的

今回の研修の目的は、まず英語力の向上である。特にスピーキング力を伸ばすことだ。日本では大学の授業以外で英語を話す機会は少ない。アメリカの生活は英語に囲まれた状況であり、ネイティブの発音を学ぶことができ目的を達成できると感じた。次に、TOEIC のスコアを上げることも目的である。TOEIC のスコアは就職に必要なようになってくるのでスコアアップは必要である。最後に、日本では体験できないことができるからである。異文化を実際に体験することで視野が広がり、より幅広い観点を身につけることができると考えた。これら 3 つの目標を目指す。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日（曜日）	内容
---	-------	----

8	2 2 (水)	到着
	2 3 (木)	オリエンテーション
	2 4 (金)	健康診断、クラス分けテスト
	2 7 (月)	Session1 授業開始
9	6 (木)	フットボール観戦
	2 1 (金)	トゥルーマンライブラリートour
10	2 (火)	期末テスト
	3 (水)	期末テスト
	8 (月)	Session2 授業開始
	2 0 (土)	ミステリートour
	2 7 (土)	ホームカミングパレード
11	3 (土)	フードショー
	1 2 (月)	ELI サンクスギビングディナー ※ELI (English Language Institute)
	1 6 (金) ～	サンクスギビングブレイク
	2 4 (日)	
	3 0 (金)	カンザスシティへ
12	3 (月)	期末テスト、TOEIC
	4 (火)	期末テスト
	5 (水)	アワードセレモニー
	6 (木)	出発
	7 (金)	帰国

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)オリエンテーション

オリエンテーションでは、学校について話を聞いたり、学生カードの作成、メールアドレスの作成、Wi-fiをつなげたりした。

ii)IEP (Intensive English Program) クラス

クラス分けテストで 9 段階のレベルに分けられる。少人数のクラスで授業を受ける。授業は主に Reading, Writing, Grammar, Communication skills などを受講する。本学の学生は Accent reduction や TOEIC 対策の授業も受ける。

iii)フットボール観戦

この日はフットボールの開幕戦であった。無料で観戦することができた。UCMのフットボールチームは強豪校らしい。試合で勝つとタッチダウンの回数により、大学のストアで最大30%オフになる。



iv) トゥルーマンライブラリツアー

授業の一環でカンザスシティにある **Truman Presidential Library and Museum** を訪問した。アメリカの歴史を学ぶことができた。その後、シティマーケットやリバティメモリアルからの景色を楽しんだ。

v) ミステリーツアー

ハロウィンが近く、みんなで仮装をして近くの施設を訪問した。そこで怖い話を聞いた。ハロウィン当日は、子供だけでなく大人も仮装を楽しんでいた。大学の近くにあるダウンタウンで、お店の方たちがお菓子を配っており長い行列ができていた。

vi) ホームカミングパレード

大学の学生や卒業生が参加していた。国ごとに伝統衣装を着て近くの街を歩くイベントである。本学の学生は浴衣や甚平を着てこのパレードに参加した。



vii) フードショー

各国の生徒がその国の料理を作り振る舞うイベントである。日本からは肉じゃがやきゅうりの漬物、みそ汁、お好み焼きなどを作った。韓国やパキスタン、チュニジアなどの料理があった。



viii) ELI サンクスギビングディナー

サンクスギビングが近く、ELIの先生方が学生のために伝統料理を作ってくださいました。サンクスギビングでよく食べられるターキーやパンプキンパイを食べることができました。

ix) サンクスギビングブレイク

アメリカの感謝祭で、アメリカ人の学生は実家に帰り、家族で過ごすことが多い。約1週間学校が休みのため、本学の学生は旅行に行ったり、近くに住んでいる方の家で料理をごちそうしてもらった。

x) アワードセレモニー

一学期が終わり修了式として一人ひとりに修了証が授与された。クラスの友達や先生方と写真を撮り別れを惜しんだ。



5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 英語力を上げること

4つの英語力の中で特にスピーキングのスキルを伸ばすことを目標にこの留学に取り組んだ。留学以前に比べ聞く力も身についたため、会話を続けることができた。しかし、まだ自信を持てるわけではないので目標は達成できなかった。より友達と話したり、ネイティブの方と話せる機会を作る必要があったと感じた。

ii) TOEIC のスコアを上げること

留学の最後に受けた TOEIC の結果は、最後に受けたスコアより 40 点上がっていたため目標は達成できた。まだリーディングの点数に満足していないので今後もさらにスコアアップできるよう勉強していく必要がある。

iii)異文化理解をすること

今回の留学で日本では体験できないイベントに参加することができた。また、他の国のクラスメイトと友達になることもできた。日本で当たり前のことが他の国の人にとっては当たり前のことではないということが改めて感じる事ができた。異文化理解はとても重要であることを再確認することができた。

6 反省・課題

約 4 か月の留学で、目標としていたことに近づくことはできたが、まだ満足できるものではないので、今後も英会話力の向上や TOEIC のスコアアップを目指していきたい。今回の留学で学んだことを忘れずに生活していきたい。

謝辞

今回の留学で渡米前の準備のサポートをしてくださり、奨学金を授与してくださった新潟国際情報大学の皆様に深く感謝を申し上げます。また、留学生活の中でお世話になったセントラル・ミズーリ大学の先生方や学生に心から感謝いたします。

付録：研修日誌

8月21日(火)～8月22日(水)
移動 成田空港からセントラル・ミズーリ大学まで
内容 ・成田エアポートレストハウスに前泊 ・翌朝、成田空港から国際線でダラス空港へ ・ダラス空港から乗り換えでカンザスシティ空港へ ・カンザスシティ空港からバスでセントラル・ミズーリ大学へ

移動の所感

飛行機での移動が長く、また日本との時差が約 14 時間あるため疲労を感じた。時差ボケになれない生徒もいた。

8月23日（木）
オリエンテーション
研修内容 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の説明 ・学生証の作成 ・Wi-fiの接続 ・ウォルマートにて買い物

オリエンテーションの内容

セントラル・ミズーリ大学についてパワーポイントで説明してもらい、一人ずつ写真を撮り学生証の作成、日本人の学生に手伝ってもらいながらWi-fiの接続を行った。その後、ウォルマートにて各自生活に必要なものを買った。

9月6日（木）
フットボール観戦
研修内容 <ul style="list-style-type: none"> ・スタジアムにてフットボール観戦

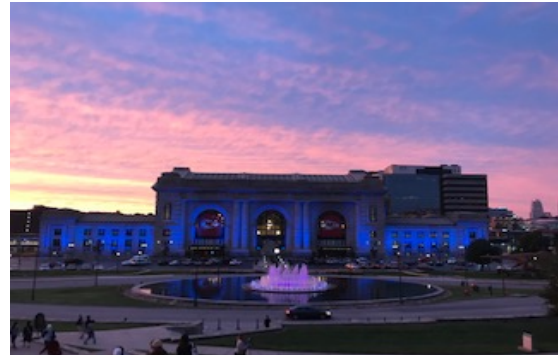
フットボール観戦の所感

フットボールの開幕戦が大学で行われ観戦をした。ほとんどの人がチームカラーである赤の服を着て観戦をしていた。点数が入ったり、タッチダウンが決まったとき大きな歓声に包まれていた。

9月21日（金）
カンザスシティ観光
研修内容 <ul style="list-style-type: none"> ・トゥルーマンライブラリー ・シティマーケットにてショッピング ・リバティメモリアル

カンザスシティ観光の内容と所感

トゥルーマンライブラリーに行きアメリカの歴史を学ぶことができた。広島、長崎での原爆のことについても書かれていた。その後シティマーケットに行き各自お店を回った。夕方にはリバティメモリアルに行き、写真を撮ったり夜景を見て楽しんだ。



10月27日（土）
ホームカミングパレード
研修内容 ・パレードへの参加

ホームカミングパレードの内容

セントラル・ミズーリ大学の在学生や卒業生が参加するパレードである。各国出身の生徒が国旗を持ち、その国の衣装を着て参加していた。本学の学生は浴衣や甚平を着てこのパレードに参加した。近くの街を歩いているときは、沿道にいる子供たちにお菓子を配りながら歩いた。

11月3日（土）
フードショー
研修内容 ・準備（日本食の調理） ・フードショー

フードショーの内容および所感

各国出身の生徒がその国の伝統料理などを披露するイベントである。JSO (Japanese Students Organization) に所属している生徒は無料でこのイベントに参加することができる。日本からは、肉じゃがやお好み焼き、みそ汁、きゅうりの漬物などを作り披露した。いろんな国の料理を食べることができ貴重な体験であった。

12月5日(水)
アワードセレモニー
・修了証の授与 ・スピーチ

アワードセレモニーの内容および所感

このイベントは生徒がそれぞれの役に分かれ行われた。1学期が終わり、一人ずつ修了証が授与された。授業のレベルごとに代表者がスピーチをした。終わった後はクラスメイトや友達と写真を撮り別れを惜しんだ。